

問題行動に対する地域における行動連携推進事業 ～問題行動児童生徒の自立支援のためのシステムづくり～

平成16年度予算額 528,942千円(新規)

1 趣 旨

中学3年男子生徒らによる殺人及び死体遺棄事件や、中学1年男子生徒による幼児殺害事件が発生したことに象徴されるように、児童生徒のいじめや暴力行為、少年非行など児童生徒の問題行動が依然として憂慮すべき状況にある。

そのため、問題行動を起こす個々の児童生徒に着目して的確な対応を行うため、学校、教育委員会、関係機関からなるサポートチームの組織化など、地域における支援システムづくりを行う。

また、「あそび・非行型」の不登校児童生徒や学校内で深刻な問題行動を起こす児童生徒に対応するため、学校復帰や立ち直りに向けた、学校外での支援の場や機能の在り方等について調査研究を行う。

2 内 容

(1) 事業評価検討委員会の設置

(2) 全国連絡協議会の開催

(3) サポートチーム等地域支援システムづくり 47地域×4ヶ所

(4) 自立支援教室の設置 47地域×2ヶ所

(5) 研究の内容

問題行動の防止・対応を図るための機能的・効果的なサポートチームの在り方の検討

立ち直りのための学校外プログラムの開発

児童自立支援施設内分校で指導の在り方の研究

校内での別室指導の在り方の研究

問題行動に対する地域における行動連携推進事業 ～ 問題行動児童生徒の自立支援のためのシステムづくり～

【文部科学省】



有識者による評価検討
委員会の設置

活動状況の報告

自立支援教室の設置

47地域×2ヶ所

サポートチーム等地域支援システム

47地域×4ヶ所

教育センター、青少年
センター、児童自立支
援施設、NPO等に設
置



学校・教育委員会・関係機関（児童
相談所、保護司、児童委員、精神科
医、警察など）からなるサポートチ
ームの組織化など、地域における支
援システムづくりを行う。

〔活動内容〕

- ・学習支援
- ・勤労体験活動
- ・スポーツ活動
- ・芸術活動 等

学校復帰等
への支援

連携・相
談・情報
交換

助言・援
助・相談

連携・連
絡・情報
交換



児童生徒・保護者



学校